TOSHIBA
Leading Innovation >>>

日本国内専用
Use only in Japan

東芝IHクッキングヒーター設置説明書

据置きタイプ(単相200V)

形 名 UHP-M21B、UHP-V31S、UHP-A21B

安全上のご注意

- 設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が*1傷害を負ったり*2物的損害の発生が想定される内容を示します。

＊1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
＊2：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
⃠	⃠は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵で指示します。
●	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵で指示します。

- 設置完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この「設置説明書」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

⚠ 警告	**設置は、設置説明書に従い確実に行う** ●設置に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
	電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」、及び設置説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。また、電圧は製品の定格電圧に合わせる ●電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
	〈UHP-V31S〉 **電源は200V-30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する** **また、電源プラグ(250V−30A)に合った専用コンセントを単独で使用する** **〈UHP-M21B / UHP-A21B〉** **電源は200V-20A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する** **また、電源プラグ(250V−20A)に合った専用コンセントを単独で使用する** ●電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
	アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う ●アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。
	絶対に分解・修理・改造は行わない ●火災、けが、感電の原因になります。
⚠ 注意	**トッププレートに衝撃を加えない** ●ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたり、トッププレートの端に物を当てたりしないでください。
	試験運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部にふれない ●やけどの恐れがあります。

設置される方へのお願い	●この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定の方法で設置してください。 ●設置完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。 ●梱包箱の内フラップに記入された付属品が同梱されていることをご確認ください。 ●この設置説明書は、必ず取扱説明書とともにお客様に保管していただくように依頼してください。

1 電気工事および接地工事

電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いします。

■電源工事や接地工事は「**電気設備技術基準**」ならびに「**内線規程**」に準じてください。

電気工事

■電源はブレーカ付の専用回路を設けてください。電源は必ず単相3線式200Vを使用してください。
3相電源の1相での使用はしないでください。故障の原因となります。

■漏電しゃ断器を必ず設置してください。（器具容量に応じ30Aまたは20A、感度電流30mA）

形　名	推奨コンセント	コンセントの形状	器具の容量	専用回路容量	幹線の太さ
UHP-V31S	露出型　DC2252E（W）	単相250V・30A 2極・接地極付	30A	30A以上	φ2.6㎜以上
UHP-M21B UHP-A21B	露出型　DC2042E 埋込型　NDG2711E	単相250V・20A 2極・接地極付	20A	20A以上	φ2.0㎜以上

■推奨コンセント（パナソニック電工製）

30A用	WK3730W：露出型　WTN3730W：埋込型
20A用	WKS294：露出型　WN1932：埋込型

接地工事

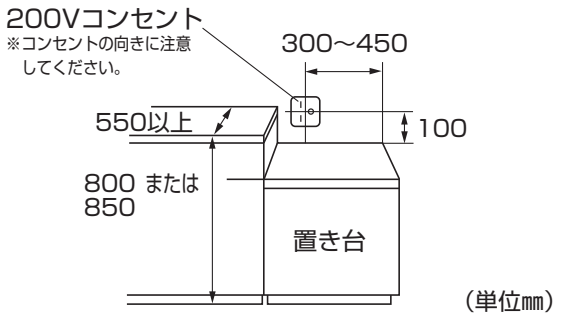
■アース工事を必ず行ってください。（D種接地工事）

●上記コンセントの一極接地用に配線してください。

〈ご注意〉アースは、ほかの電気器具と共用したり、ガス管、水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

2 コンセントの設置

■コンセント推奨位置

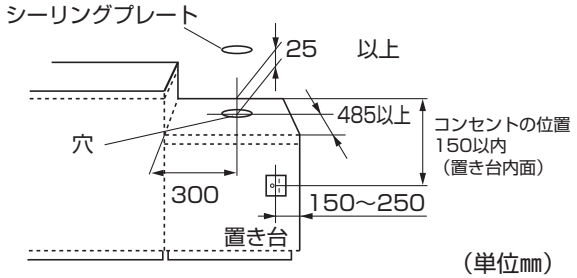


この位置にコンセントを設ける場合は、水はね防止のため、クッキングヒーターにバックガード（別売品）を取り付けることを推奨します。

■置き台より下にコンセントを設置する場合

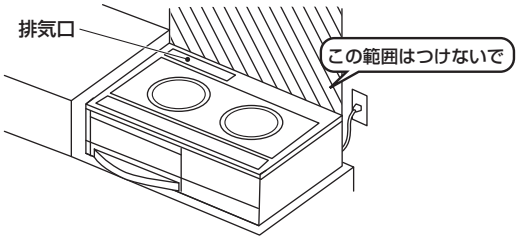
ホールソーなどを使い、置き台に器具により下部の穴を開ける。
※開口した穴をふさぐときは、シーリングプレートを貼り付けてください。

UHP-V31S	φ80㎜	UHP-M21B UHP-A21B	φ50㎜～60㎜



●電源コードの直付けは絶対にしないでください。

●上図の位置に設置できない場合は、壁面に取り付けてください。
ただし、コードの長さの範囲内で、排気の当たらない所に取り付けてください。



3 設置場所の確認

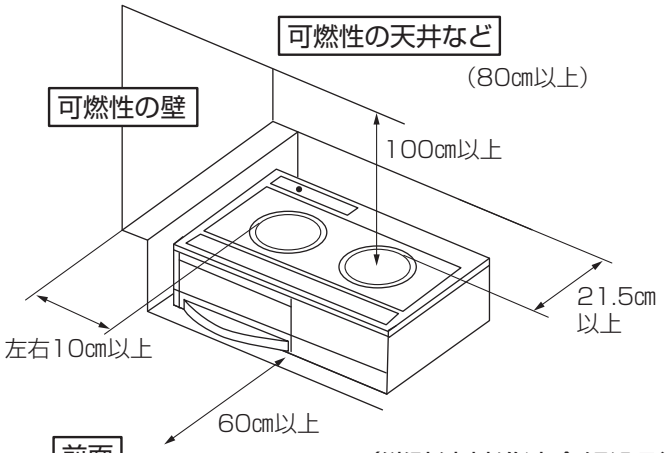
火災予防条例、電気設備技術基準省令第59条に従って設置してください。

■設置を始める前に確認してください。

●器具の大きさに合った**丈夫**で**水平**な台の上に設置してください。

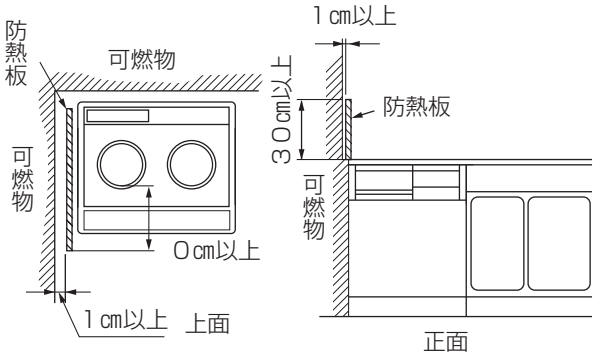
●器具は火災予防上、可燃物（土壁･棚）との間を側面10cm以上、背面7cm以上（製品本体）、上面100cm以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

●（　）内は不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合。



（消防法基準適合組込形）

●可燃性の壁より、左記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。



●製品の金属部がキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備の技術基準の解釈について第5章電気使用場所の施設第1節屋内の施設第167条で危害なきよう設置することが定められています）

●**グリル排気口**をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などで**ふさがない**でください。

●本体をタイルやモルタルで、**塗り込まない**ようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。

●**湿気のすくないところ**に設置してください。

●**十分換気**のできるところに、設置してください。

●器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など**燃えやすいものは、置かない**ようにしてください。

4 設置する

設置前の準備

■包装材料を取り外し、付属品を確認する

排気カバー	焼　網	天ぷらなべ
1個	1個	1個

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。

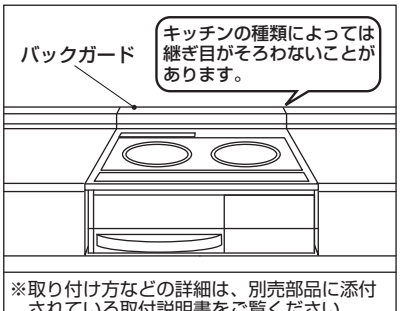
●グリル扉止めテープをはがし、焼網の包装材を取り除いてください。

■バックガード適用機種一覧

バックガード形名	適　用　機　種
UHP-BG2	UHP-V31S/UHP-M21B/UHP-A21B

バックガードについて

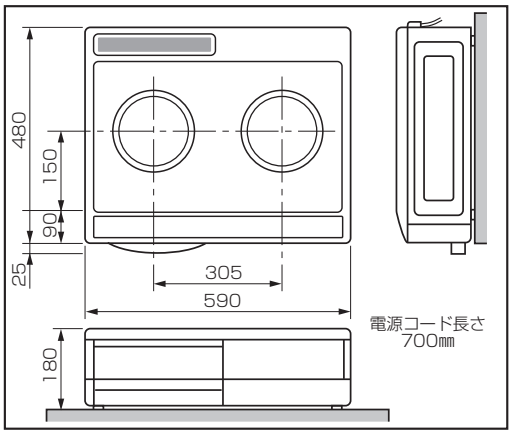
形名



※取り付け方などの詳細は、別売部品に添付されている取付説明書をご覧ください。

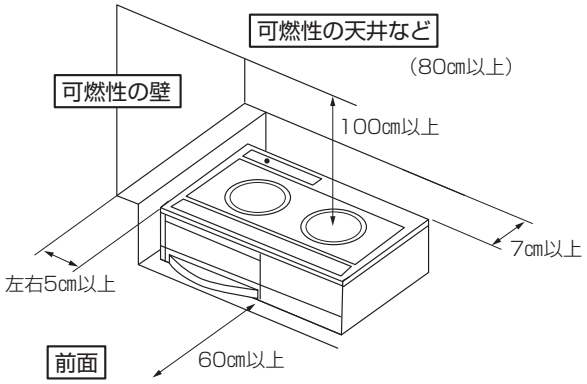
本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

5 製品外形寸法図 単位：mm



6 製品の設置図

●（ ）内は不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合。



7 工事完了後の確認

■設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

	確認項目	チェック
付属品などの取り付け包装材などの取り外し	グリル扉部止めテープの取りはずし。	
	排気カバーの取り付け。	
	グリル受け皿、焼網の取り付け。	
	取扱説明書、設置説明書、天ぷらなべを包装箱から取り出し、お客様にお渡しする。	
動作	グリル扉が、スムーズに奥まで完全に閉まることを確認する。	
電気工事	設置工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電気試験	①ブレーカーを“入”にする。 ②電源電圧が２００Vであることを確認する。 ③電源スイッチを“入”にする。→電源ランプが点灯する。	
	④各ヒーターの動作をチェックをする。 ●左ヒーターのチェック ●操作パネルの左IHヒーターの(スタート/切)キーを長押し(1秒)する。 →左側の火力表示ランプの左から6個目までが点滅する。確認後は(スタート/切)キーを押して“切”の状態にしてください。 ※左ヒーターはIHヒーターですので、トッププレートの加熱部に鉄系のなべが置かれている場合しか加熱されません。上記の火力表示の点滅はなべが無く、通電されていない状態を示しており、正常です。もし鉄系のなべがお手元にある場合は、水を入れたなべを載せて、左IHヒーターの(スタート/切)キーを長押しして通電を開始します。火力表示ランプの左から6個目までが点灯し、水が加熱されるのを確認してください。 （付属の天ぷらなべは使わないでください。水を入れると錆びます。使用した場合は乾いた布で水気を十分に拭き取ってください。）	
	●右ヒーターのチェック 上記左ヒーターと同様に右IHヒーターの(スタート/切)キーで操作して確認してください。	
	●グリルのチェック ●操作パネルのグリルの(スタート/切)キーを長押しして、操作部の火力表示ランプを全て（5個）点灯させる。 →約1分でグリルの中が熱くなる。確認後は(スタート/切)キーを押して“切”の状態にしてください。	

東芝ホームアプライアンス株式会社
リビング機器事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

Z01Z970917